

これからも両社協力のもとで 信頼性の高い製品を市場に届けたい

株式会社 安川電機

1915年設立。「モーションコントロール」「ロボット」「システムエンジニアリング」「情報」の4分野において時代の先端産業・技術を支え続けてきた日本を代表するメカトロニクス製品メーカーです。日本を含めた世界25カ国に販売拠点、9カ国に生産拠点を置き、その技術・製品・サービスは、全世界の得意先から高い評価と信頼を得ています。



株式会社 安川電機
クリーンロボット事業統括部
クリーンロボット技術部 部長
古谷 彰浩様

—THK製品のどのようなところを 評価されていますか？

まず高精度が出し易いこと。THKさんのLMガイドは「サーキュラーアーク形式※1」なので、アライメント※2の自由度が高く、組み立てが容易にできます。従って精度が要求される場所には、THK製品を使う例が多いと思います。また私は半導体ロボット、液晶ロボットの開発に携わっていますので、静音性と金属接触が少なくパーティクル（微小な塵や埃）が発生しにくいクリーン度に優れたボールリテーナー入りLMガイドやボールねじを非常に重宝しています。と言いますのも「クリーンルーム」というゴミのない特殊な空間で使われる半導体ロボット等は、雑音を発生しないことが要求されます。お客様は「音がする＝何か振動している→どこかが当たっている→パーティクルが発生している」と判断されるからです。また耳障りな音はクリーンルームで働く人にとってストレスがかかるので、静音性の高いリテーナー入りの製品はありがたい存在です。

※1 サーキュラーアーク形式：
溝の断面形状が1つの円弧でできており
ボールは2点接触する

※2 アライメント：
誤差吸収

—特に印象に残っているお取引について 教えてください。



半導体用
クリーンロボット
(SEMISTER-M124)

THKさんのガイドを組み込んだ製品が、明日出荷という時期になって必要な精度が出ていないということが分かり、翌日の朝までに何とかしないと当社のお客様に

ご迷惑をかけてしまうという非常に緊迫した状態になったことがありました。

既にお盆休みで担当工場の技術者との連絡がつかない中、THKさんの別工場からエンジニアの方がいらして「なんとかしましょう」と力強く言っていただいたことは今でも印象に残っています。徹夜で対応いただいた結果、翌朝には求める数値が出て、なんとか納期に間に合わせることができました。担当工場の方でなかったにもかかわらず、一生懸命親身になって作業いただき大変助かりました。

うまくいって当たり前の世界ですが、万一トラブルが起こった際のリカバリーにどれだけの力があるのかは、任せられるパートナーとしてとても大事なことです。THKさんにはそれだけの底力がありますから、信頼感をもってお付き合いができています。

—今後THKに期待することは なんでしょうか？

この業界では製品の寿命を含めた信頼性が求められています。半導体ロボットも液晶ロボットも24時間稼働という過酷なラインで動いていますから、如何にラインを止めないか、あるいは止まった時の被害を最小限にできるかが課題です。特にガイドやベアリング等重要な機構部分は機械の基礎部にあり、壊れると復旧に時間がかかりますので、24時間ずっと動き続けて少しでも長く壊れずにもつという信頼性をこれからも追求して欲しいと思います。

またメンテナンス作業により装置を止める時間を最小にしたいというお客様が多いなか、自動給油機構付きの製品や給油し易い構造等「使いやすさ」についてもさらなる工夫をお願いしたいと思います。